

学校だより

第34号 ひたちなか市立勝倉小学校
令和7年3月19日(水) 発行
児童数 293名 実家庭231戸



卒業式特集 NO. 2

学校長 式辞より ～抜粋～



この6年間、皆さんには、多くの経験を通して、心も体も大きく成長しました。小学校生活の半分はコロナ禍にあり、入学したときには予想しなかった不安な日々もありました。また、6年の間には、楽しいことばかりではなかったことだと思います。悔しい思いをしたり、友達との関係で悩んだりしたこともあったことでしょう。しかし、楽しかったことも、つらかったことも、それらすべてが皆さんを成長させ、今日の立派な姿になっているのだと思います。どうぞ、その苦しかった時に、そばにいてくれた友達をこれからも大切にしてください。

私が皆さんと過ごしたのは、1年という短い時間でしたが、最高学年らしく活躍する姿をたくさん見ることができました。五月の運動会では、競技はもちろん係活動でも下級生をリードし、さすが6年生だと感心しました。パワフルな走りや、力強いかけ声と共に躍動した勝倉ソーランは 下級生のあこがれでした。11月のふるさと祭りでは、運営委員を中心に活躍し、行事の成功に大きく貢献しました。その他にも、東京遠足、持久走記録会、日々の授業、一緒に練習した卒業式の合唱など、様々な場面でのみなさんの真剣な眼差しや笑顔が心に浮かびます。

私が 小学校を卒業する皆さんに願っているのは、「夢中になって打ち込める何かを見つけてほしい」ということです。それは、勉強でも、スポーツでも、絵を描いたり楽器を演奏したりすることでもいいと思います。今年1月、長年メジャーリーグで活躍したイチロー選手が、アメリカでアジア人として初めて野球殿堂入りを果たしました。彼は、そのインタビューで、「18歳でプロ野球選手になったとき、殿堂入りするだなんて想像したことなかったし、アメリカに渡った時も、ここで何年プレーできるかな、と思っていました。」と答えています。また、「ぼくは、とにかく野球が好きなんです。そして、野球に関しては、だれよりも努力していると胸をはって言えます。小さいことを積み重ねていくことが、とんでもないところにたどり着くただ一つの道だと思っています。」とも話しています。事実、イチロー選手は、野球を始めた子供の頃から、世界的な選手になった今まで、何十年も、ずっと毎日、ストレッチや素振りの基礎練習を続けているとのことです。

打ち込める何かがあるのは、とても幸せなことで、自分を輝かせてくれます。皆さんには、今後、これまで以上に多くの経験をし、多くの人と出会うことでしょう。その中で、好きなことや夢中になって頑張れる何かを見つけてください。そして、「努力することを楽しむ」そんな力強さとしなやかさをもって前進していくください。

全校児童で見送りをしました。
卒業おめでとう！

